

令和元年度避難所開設訓練を行いました。

「避難所開設」とは災害によって住む場所がなくなった人達が、予め町が指定した避難所に一時的に住めるように、受け入れ体制を整える事です。

今年度の訓練は大地震発生後に、役場や学校の職員がすぐに駆けつけられない状況を想定し、避難者だけで北島南小学校の体育館を避難所として使用する事を目的とし、第1部の講義と第2部の実地訓練の二日間に分けて行いました。

第1部「見て！知って！避難所開設」はより多くの人に参加してもらうために、北島町防災訓練（11月10日開催）の一環として行い、約100人の参加がありました。

避難所開設の作業で、最も重要なことは、避難所として使う建物の安全性をチェックすることです。この安全点検で使用可能と判断されなければ、避難所を開設してはいけません。安全と判断されたら、建物を解錠し、避難者を受け入れる準備を行います。これが基本的な避難所開設の作業手順です。DVD視聴と、担当者の説明により、開設手順やルールなどを学びました。

この講義は、避難所のレイアウトを施された体育館の中で行われ、避難所のイメージを皆で共通に持つことができました。

基礎知識を身につけたら次は実地訓練です。12月1日に開催された第2部「やってみよう！避難所開設」では、近隣の自主防災会9団体、南小学校の職員・役場職員など約70人で実際に避難所を設置しました。

最初に来た人が避難所開設のリーダーになり、周りの協力者と共に施設の安全点検、体育館の解錠を行いました。その後6つの班に分かれ、リーダーの指示のもと、備蓄資機材を運搬・設置し、体育館に居住空間を作りました。

訓練に参加することで、何がどこに備蓄されているか、どのように使用するかがわかります。また、誰が最初に避難所に到着しても開設できるように、ミッション（指示書）を読み上げれば避難所を開設できるように、簡潔に行動を示した「ファーストミッション・セカンドミッション」を北島町女性防災会の協力により作成したので、開設資機材が入った「避難所運営キット」とともに、より多くの皆さんに知っていただきたいと思っております。今後も避難所開設訓練を行い、防災の輪を広げ、安全な町づくりに繋がっていきたいと思っております。

第1部「見て！知って！避難所開設」



建築士会による安全点検の説明
(被災建築物応急危険度判定)

第2部「やってみよう！避難所開設」



班に分かれてミッション開始



立ち入り禁止場所の選定



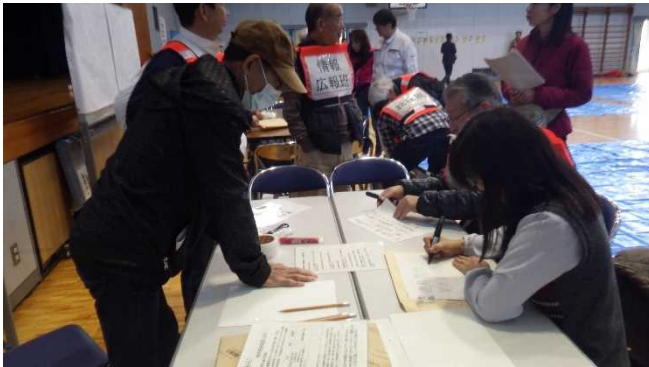
避難所運営キットの中身チェック



要配慮者用スペース作り



マンホールトイレ設置



掲示板のお知らせ作り



資機材運搬・設置